



社会で活躍する力をその手に!

放水訓練で八尾市消防本部の職員から直接指導を受ける『SAFETY』の学生たち。

kirari
活躍する
経法生

積極的な活動で地域防災に貢献。

学生消防隊
[SAFETY]

船木 睦也さん
法学部 法律学科 2年生
大阪府立北摂つばさ高校出身



2016年7月に、本学と八尾市消防本部との協定により結成された学生消防隊『SAFETY』。地域の防災のために力を尽くすその姿勢は、大阪府内で初の学生消防隊ということもあり、学内外で注目を集めています。その具体的な取り組み内容や、地域社会と防災への想いについて、2年生リーダーの船木睦也さんにお話をいただきました。



実践的な訓練や講習を受け、市民への防災指導にも参加。

学生消防隊『SAFETY』では、八尾市消防本部と地域の消防団の方々とともに、八尾市の防災に貢献するためのさまざまな活動に取り組んでいます。消防訓練では、八尾市消防本部の消防官の方に直接指導を受け、防災講演に耳を傾けるとともに、放水やはしこ車体験、傷病者救出訓練など、実践的な訓練に取り組み、災害時に求められる知識や技術の習得に努めています。

一方で平日頃から、市民の方々の防災意識を高めるための活動に、積極的に参加しています。例えば消防団が実施している可搬式消防ポンプについて、市民の方々に知ってもらうための講習会。「いざという時は、誰でも使える設備なんです」ということ、そしてその使い方を、一人でも多くの方に理解していただけるよう、頑張っています。そうした際に、市民の方々に親しみをもって接し

てもらい、「ありがと」といった言葉を送る。地域に貢献できることを、実感しています。

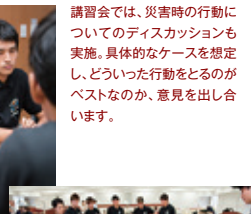
「人々の安心を守りたい」。
自らの未来へもつながる想い。

私自身の将来の夢は、元々は警察官になることでした。「人々の安心を守りたい」という想いがあつてのことです。そんな私が学生消防隊に参加したのは、ごく当たり前のことでした。学生のうちから地域に役立てることをうれしく思いますし、大学生活に対するモチベーションも高まるばかりです。学生消防隊の活動を通じて、最近では消防官の仕事にも魅力を感じ始め、警察官とどちらをめざすか、迷い始めています。ただ、どんな仕事をめざす上でも、「人々の安心を守る」という貴重な体験ができていくことは間違いありません。一人でも多くの学生に、参加してもらいたいですね。

地域の防災を担う責務は重大。常に気を引き締め、頑張っています!



傷病者搬送訓練の様子。災害時に一人でも多くの方を救うには、私たち学生消防隊の役割も重要です。いざという時に必要な知識や技術を、身をもって学んでいます。



大規模水害等で八尾市消防署が機能不全となった場合を想定し、本学の花岡キャンパスを緊急時における八尾市消防本部の代替拠点とするための訓練も実施しました。



八尾市消防署での「こどもお仕事体験」に参加。学生消防隊のメンバーたちは子どもたちの消防署見学や放水体験に付き添い、署員の方々のサポートに努めました。



02 【特集】
歩み出せ
ビジネスの第一線へ！

- ▶ 巻頭対談
引地 夏奈子准教授 × 川口 将輝さん
- ▶ BLP [河内木綿プロジェクト]
笠井 樹希さん

06 クローズアップ経法
CLOSE UP KEIHO

- ▶ 体育会 空手道部
巴山 涼香さん
- ▶ STUDY FOR TWO
相本 直樹さん
- ▶ 応急救命手当講習会
- ▶ ホタル鑑賞会
- ▶ 女子ワークショップ
- ▶ 文化会囲碁部 1部昇格
- ▶ 2017年度春学期クラブ活動戦績

08 2017年度大学事業計画・
大学予算収支

12 kirari 活躍する経法生
学生消防隊 [SAFETY] 船木 睦也さん

2017年 6月30日発行
【編集】 大阪経済法科大学事務局庶務課
〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地
TEL 072-941-8211 FAX 072-941-4426
<http://www.keiho-u.ac.jp>

高い志を持つ仲間たちが
合格への支えとなった。

—— 公認会計士試験の現役合格、
おめでとございます。

川口◎ ありがとございます。入学前から現役合格が目標でしたので、3年生の時に合格できたことを本当にうれしく感じます。会計ファインスコースでの学修とSコースの会計職講座で試験対策に特化した指導を受け、努力を重ねてきた成果が実りました。

引地◎ 川口さんは、本当によく頑張ってきたと思います。私のゼミやSコースで川口さんとともに学んでいる学生たちも、強い刺激を受けていますね。

川口◎ 私自身も、仲間たちの存在が励みになりました。引地先生のゼミで一緒に学んできたのは、公認会計士や税理士をめざす、高い志を持つ学生ばかり。「みんなに負けた

くない」という気持ちがあったから、苦しい時期も乗り越えることができたと感じます。

会計だけでなく、幅広い
学びが未来に生きる。

—— 大学では公認会計士試験合格に向けた学修に、すべてを費やしてこられたのでしょうか？

川口◎ そうとは言えないと思います。もちろん資格試験の勉強には大きな力を注ぎましたが、大学に入学したのだから、会計以外の勉強にも積極的に取り組みました。例えば情報系の科目の授業をきっかけに、2年生の時に応用情報技術者試験に合格しました。また、高校生の頃から地域経済に興味があり、大学では「地域デザイン」「地域経済論」等、経済学の科目も履修しました。

引地◎ 学部・学科の枠を超えての学修は、将来のためにも大切です。

2017年度、経営学科完成年度を迎えて



会計学特別演習では、会計専門職をめざす学生たちが、最新の新聞記事などを教材に、会計学の役割についての本質的理解や実践スキルの修得に取り組んでいます。

実際、公認会計士として社会で活躍する上でも、経済学の知識は大いに役立ちますよ。特に昨今の監査の世界では、公会計の重要性が高まっているので、地域経済を学ぶことはとてもタイムリーだとも言えます。情報系の知識についても、これからの会計においてますます重視されることは間違いありません。

たと思います。さらに将来のキャリアのために、在学中に情報処理安全確保支援士の資格取得をめざしています。また、内定先の監査法人では、非常勤として今年から実務を経験させてもらっているのですが、「地域経済や公会計を学んでいる」とアピールしたら、地方自治体の仕事に携わる機会を提供してもらえました。

引地◎ 公認会計士として社会に出れば、周囲は会計の専門家ばかり。そのなかで存在感を示すには、情報や経済など、会計以外の専門知識が強みになるんです。川口さんの複眼的な学びは、社会でその真価を発揮することになるでしょうね。

資格試験合格のその先に
広がる世界があるから。

—— 川口さんは、引地先生が担当されている会計学特別演習も履修されていますね？

公認会計士試験
現役合格

あずさ監査法人
内定

MASAKI
KAWAGUCHI

川口 将輝さん
経済学部 経営学科 4年生
香川県立坂出商業高校出身

Doctor of Business Administration

KANAKO
HIKICHI

引地 夏奈子准教授 [博士 (商学)]
経済学部 経営学科
専門分野 財務会計・国際会計

Special Feature

【特集】

歩み出せ ビジネスの 第一線へ！

Cross Talk | Associate professor × Student

Department of Business Administration

2014年4月に設置された本学の経営学科が、完成年度を迎えました。本学経営学科の第一期生であり、公認会計士試験現役合格を果たした川口将輝さんに、入学時からの経営学科での学びと成長について、引地夏奈子准教授とともに振り返り、語り合ってもらいました。

川口◎ はい。引地先生には、ゼミでも、この特別演習でも、たいへんお世話になりました。先生の指導のもとで、会計についてより深く実践的な知識を身につけることができたと思います。

引地◎ 会計学特別演習を履修する学生の多くは、公認会計士や税理士をめざしています。資格試験に向けた対策指導はSコースで行いますので、それとは違ったアプローチで会計学全般を学ぼう、というのがこの特別演習のあり方です。例えば実際の企業の決算に関する新聞記事を読み、そこに自分たちが学んで

いる会計基準がどうかかわっているのかを考える。実例ベースで学び、「将来、自分たちが会計のプロとして、社会でどのような役割を果たすのか」といったことへの理解を深めているんです。

川口◎ 特別演習ではグループワークやプレゼンテーションの機会が多く、自分の考えを相手に伝える力も養われたと感じます。

引地◎ 公認会計士や税理士は人と会って話をする機会が多い職業ですから、コミュニケーション能力は不可欠です。さらにグローバル社会への対応を見据え、国際会計基準につ



河内木綿
プロジェクトリーダー

笠井 樹希 さん
経済学部 経営学科 3年生
奈良県立西和清陵高校出身

自らの考えで社会にアプローチ。 多くの体験が将来への自信に。

BLP「河内木綿プロジェクト」は、地域の伝統文化“河内木綿”を現代に復活させて世界に発信し、地域に貢献することを目的としています。企業から与えられたテーマに取り組むといったタイプの産学連携プロジェクトと異なり、大きな目的のために何をすべきかを自分たちで考え、その考えに基づいて自分たちから企業にアプローチしていくというのが、難しくもあり、面白い点です。自分たちで製品の企画・デザインをして、製造や販売を委託する企業を検討・選定し、その企業を訪問して交渉や打合せを重ねていきます。さらにリーダーとしてメンバーの教育や組織のマネジメントにも取り組むなど、実際の企業での仕事と同じような活動を繰り返しながら、生きた経営学が学べていると実感しています。他にも綿の栽培や機織り、SNSでの情報発信、ビジネスコンペでのプレゼンテーションなども行います。社会とともに学び、「将来、社会で働く」ということへの自信が、確実に高まっています。



①プロジェクトのメンバーは、スーツ着用で活動しています。②キャンパス内の自分たちの畑で、綿の栽培にも挑戦。③河内木綿で作った名刺入れ。私たちのプロジェクトで企画した、オリジナル製品の第一号です。

でもありました。実際に現役合格を果たした先輩の言葉です。説得力があり、1年生たちも目を輝かせて聞いていました。川口さんをはじめ、本学には後輩たちにとっての良い先例となっている学生が大勢います。そうした先輩を交え、学生同士がともに教え合える機会を、これからも積極的に設けていきたいですね。

ええ。会計だけでなく情報や経済も学び、その知識を社会で発揮する道筋も見えた。卒業後の監査法人での仕事も、とても楽しみです。**引地** ◎会計など一つの専門領域を柱としながら、幅広い学びに取り組むことが大切だと思います。マーケティングも、経営戦略も、国際ビジネスも、経済学も。学問としての経営学を突き詰め、研究職をめざすといった選択肢もあります。

川口さんのように入学時から明確な目標を持っている学生でなくとも、選択肢が多ければ、自分が学びたい分野を、入学後に見つけることができるでしょうね。**引地** ◎むしろそういった学生のほうが多いですよ。最初は簿記を中心に学んでいた学生がマーケティングに興味を持つようになったり、マーケティングを学ぼうと考えて入学し

いての研究発表も英語を交えながら行う、といった試みも行いました。**川口** ◎企業の不正会計についてのニュースを取り上げるなど、リアルでタイムリーなテーマが多いので、興味や実感を持ちながら学べ、楽しかったですね。**引地** ◎資格試験合格や就職はゴールではありませんからね。その先にある、「会計専門職としての自分が社会でどう認めてもらえるか」を考え、そこに向けた基盤を学生のうちに築いておくことが大切です。川口さんをはじめ、学生みんながそれを理解し、高度で実践的な学びを自主的に繰り広げてくれたことを、教員として、とてもうれしく感じていますよ。

卒業まで、まだまだ学べるがたくさんある。

川口 将輝さん

経済学部 経営学科 4年生 | 香川県立坂出商業高校出身
公認会計士試験 合格 | 有限責任あずさ監査法人 内定

卒業論文のテーマはコンパクトシティ。情報処理安全確保支援士の資格取得にも挑戦したい。自分が学びたいと思うことを、卒業まで学び続けることができる。ありがたいですね。

—— 先ほど、川口さんから「楽しい」というお言葉がありました。高度な専門学修にもかかわらず、学生たちは難しさやつらさをあまり感じることはないのでしょうか？**引地** ◎将来の夢を実現させるための勉強だから高いモチベーションを保てる、というのもあるでしょう。ただそれだけではないと思います。**川口** ◎同じ経営学科でマーケティングやビジネスマネジメントを中心に学んでいる学生の多くは、フィールドワークや産学連携プロジェクト等、アクティブラーニングにも取り

組んでいます。みんなとても楽しそうですね。**引地** ◎経営学は明確な答えがない学問ですので、座学だけでは難しい。実践の中から真理を探究する実学が重要になります。だからこそ、アクティブラーニングが大切になるんです。体験を通じて自分なりの答えを見つけていく学びは、楽しいと思いますよ。会計の分野でも、工場見学などのフィールドワークを近いうちに実現したいと考えています。**川口** ◎工場見学などでものづくりの流れを自分の目で確かめながら理解できれば、原価計算の意味や

2017年度、経営学科完成年度を迎えて

合格はゴールじゃない。 その先へと続く、未来のために。



引地 夏奈子 准教授[博士(商学)]
経済学部 経営学科 | 専門分野 / 財務会計・国際会計
資格試験に合格すれば、未来が約束されるわけではありません。「この人と仕事したい」と、社会で認められる人にならなければ。大学でのさまざまな学びが、その礎となります。

た学生がマネジメントに強い関心を持つようになったり。そうした方向転換があっても、それは決して遠回りにはなりません。例えば簿記はすべてのビジネスの基本になる知識ですから、企業経営にも、マーケティングにも、何にでも生かすことができます。幅広い学びから、川口さんのように「1丁 監査に強い公認会計士」といった、自分の強みを作り上げていくこともできるんです。

川口 ◎まずは何事にも興味を持つことが大切だと、私は思います。毎日ニュースを見て、社会にしっかりと目を向けることが、自分の将来を考えるための第一歩になるのではないのでしょうか。**引地** ◎めざす道が見つかったなら、私たち教員が全力でサポートします。それは、約束できます。

役割も実感できますね。会計学を学ぶ上でこの体験は重要だと思えます。**プロジェクト型のアクティブラーニングやゼミでの学修では、先輩が後輩に教えるといった、学年を超えてのタテのつながりの強さも目立ちますね。****引地** ◎経営学の研究対象の一つとして「組織」があります。ですから経営学を追究していく日々のなかで、学生も教員も、人と人との結びつきやチームワークなどについて常に考え、その結果として学びの場に「成長する組織」を作り上げることができているのではないかと、私は感じます。**川口** ◎私も今、引地先生のゼミで、後輩たちに会計を教える機会をいただいています。自分で勉強をする

よりも難しく感じる時もあります。が、とてもいい経験ができ、楽しく取り組んでいます。**引地** ◎川口さんには、会計専門職をめざす1年生たちの大学演習でも、公認会計士試験にあたっての学修体験や心構えなどについて話し



企業や自治体との協働による体験学修も積極的に展開。山路ゼミでは「真田幸村博」に継続的に参加し、昨年はグッズ販売ブースの運営に学生たちが挑戦しました。



INTERVIEW

「体育会」空手道部 全日本学生選手権大会に出場決定！ 応援よろしくお願いします！

私たちは経法大の空手道部は、現在部員数16名。うち9名は、私を含む今年の新入生で、部はいま、とても活気づいています。私は高校でインターハイ出場等の実績を残し、スポーツ推薦で入学しました。大学の練習は厳しいですが、みんな仲が良く、熱心な監督のもと、自由にのびのび取り組めるのが、わが空手道部の魅力です。

4月に開催された関西学生空手道選手権大会では、私は個人の形競技でベスト8という成績を収め、7月の全日本学生選手権大会出場権を獲得しました。大学で初めての大会だったので、緊張して気負いましたが、目標だったベスト



空手道部 巴山 涼香さん
法学部 法律学科 1年生
大阪府 城南学園高校出身

3才から空手道を始め、小中高を通じて全国大会で活躍。平成29年度の大阪府空手道連盟強化選手にも選出。将来の夢は公務員。

8に到達でき、ホッとしています。そして同じ大会の組手競技でも、先輩の寺田侑真選手（法学部法律学科3年生）がベスト8となり、全日本学生選手権大会出場が決定しました。経法大の空手道部から2名が、全国の舞台へと飛び立ちます。

対戦相手はほとんどが格上の選手で、謙虚な気持ちで、「戦い集中したいと考えています。また、空手道は組手のイメージが強いですが、私が頑張ることで、多くの人に形競技にも関心を持ってもらえたらうれしいですね。みなさん、声援をよろしく願います！」

INTERVIEW

「友好会サークル」STUDY FOR TWO 途上国の子どもたちのため、 自分たちにできることを。

「STUDY FOR TWO」は、全国の大学に組織を持つ国際協力を目的とした一般社団法人です。活動の中心となっているのは大学生。「学生が使い終わった教科書を回収し、安価で再販して、収益を途上国の子どもたちの教育支援に役立てる」というのが、主な活動内容です。

その支部の一つとして、経法大では2016年から有志のボランティアチームとして活動を始め、2017年4月に正式なサークルを発足させました。教科書の回収や販売だけでなく、途上国についての勉強会も行い、世界の実状とそのなかで自分たちに何が



STUDY FOR TWO 相本 直樹さん
国際学部 国際学科 2年生
大阪市立西高校出身

異文化理解への関心が高く、本学の国際学部にて、1年次には米国とカンボジアに短期留学し、この秋からマレーシアへの交換留学を予定。

メンバー募集中!!

〔学部・学年を問いません〕

下記よりご連絡ください

■メール
study42.oue1@gmail.com

LINE@



クローズアップ 経法

CLOSE UP

KEIHO

救命救急士を講師に招き、 応急救命手当講習会を開催。

6月9日（金）、八尾市消防本部の協力の下、八尾駅前キャンパス602講義室で応急救命手当講習会が開催されました。

当日は、体育会クラブの学生をはじめ、学生消防隊「SAFETY」に所属する学生たちが多数参加。救急救命士から、心肺蘇生法やAEDの使用法、応急救命時の対処法や心構え、熱中症の予防対策などについて講習を受けました。

参加した学生たちは、真剣な表情で救急救命士の話に耳を傾けていました。



講習会の最後に、八尾市消防本部の方より、一人ひとりの迅速な対応が人命を救うことになることの説明が行われ、参加者たちもあらためて気を引き締めていました。

「栄養と健康」をテーマに、 女子ワークショップ開催。

6月2日（金）、花岡キャンパスクロフス2階「学生ラウンジ」で女子学生を対象としたワークショップが開催されました。

栄養士 笠松範子さん（栄養アドバイザーやお所属）を講師にお招きし、「栄養と健



康」をテーマに開催。普段の食生活で大切な栄養バランスや、日頃の食事の大切さについて講演いただきました。また、BMI（体格指数）の計算方法や正しい食事のとり方などについても説明が行われました。

今回の女子ワークショップには、留学生やクラブ・サークル生など、学部・学年を越えた学生が参加。「わかりやすく、栄養について考えるきっかけになった」「これから食生活に気をつけようと思った」などの感想が多く寄せられました。

初夏の訪れをつげる、恒例の 「ホテル鑑賞会」を花岡キャンパスで開催。

6月2日（金）・3日（土）の2日間、毎年の恒例行事となった「ホテル鑑賞会」が花岡キャンパスで開催されました。この鑑賞会は、本学を拠点に環境保全活動を行っている学生研究グループ「mooーる&smeeo」が中心となって運営協力を行いました。

当日は、日が落ち、暗くなるまでの間、竹で作る「でんでん虫」の工作と留学生によるマレーシアの踊りなどが行われました。その後に行われたホテル鑑賞では、暖かみ点滅する幻想的なその姿に、会場の誰もが時間を忘れ見入っていました。



花岡キャンパスのホテルは年々その数が増えています。「ECO+&KEIHO」による環境保全活動の地道な努力も貢献してきました。今後とも花岡キャンパス周辺の環境保全活動に努力していきます。

文化会囲碁部が雪辱を果たし、1部昇格。

関西学生囲碁連盟春季リーグ戦2部が、6月11日（日）・18日（日）の2日間にわたり開催され、本学文化会囲碁部が2部優勝を果たし、見事1部に復帰しました。今回のリーグ戦では、関西学院大学、関西大学、摂南大学との対局をすべて接戦で制し、同志社大学との対局に引き分け、無敗で2部優勝を飾ることができました。

囲碁部は、昨年2部に降格して以降、苦戦を強いられてきましたが、本リーグ戦では日頃の練習成果を存分に発揮し、昨年の雪辱を果たすことができました。



【 囲碁部部長からのメッセージ 】

三好 達さん

法学部 法律学科 3年
山梨県 日本航空高校出身

部員数が少ない中、2季ぶりに1部昇格を果たすことができ、うれしく思います。秋のリーグ戦では、すべての対戦校が格上の相手になりますが、4年生を1部に所属したまま送り出すことができるよう、精一杯頑張りたいと思います。

▶ 2017年度春学期 体育会・文化会クラブの主な活動戦績

クラブ名	大会名	競技成績
卓球部(男子)	関西学生卓球リーグ戦1部	2勝5敗／最終順位6位(1部残留)
軟式野球部	西部大学軟式野球リーグ戦1部	5勝5敗／最終順位3位(1部残留)
硬式野球部	阪神大学野球リーグ戦2部東	3勝5敗／最終順位4位(2部東残留)
ソフトボール部	関西学生ソフトボールリーグ戦2部	1勝3敗／最終順位4位(2部残留)
バレーボール部(男子)	関西大学バレーボールリーグ戦3部	1勝6敗／最終順位7位(3部残留)
バレーボール部(女子)	関西大学バレーボールリーグ戦7部A	1勝3敗／最終順位4位(7部残留)
サッカー部	関西学生サッカーリーグ戦3部C	1勝5敗1分／最終順位7位(3部残留)

クラブ名	大会名	競技成績
バドミントン部	関西学生バドミントンリーグ戦6部B	1勝3敗／最終順位4位(6部残留)
テコンドー部	大阪府テコンドー選手権大会	[男子]58kg級優勝、63kg級優勝、68kg級優勝 [女子]49-53kg級優勝
空手道部	関西学生空手道個人選手権大会	[男子組手]67kg級ベスト8、75kg級ベスト8 [女子形]7位入賞(全国大会出場)
柔道部	関西学生柔道優勝大会2部	団体戦／3位入賞
囲碁部	関西学生囲碁リーグ戦2部	3勝1分／最終順位1位(1部昇格)
将棋部	関西学生将棋リーグ戦一軍戦B級	1勝5敗／最終順位6位(C級降格)

大学事業計画・大学予算収支

2017年度大学予算及び大学事業計画が3月27日理事会において承認されました。ここに、その概要を公表いたします。

本学は高等教育機関に課せられた社会的使命及び公共的責務を果たすため、各学部学科・研究科の養成する人材像の実現に向け、大学事業計画を着実に実行します。

本学の教育研究活動に、引き続き、理解を頂きますようお願い致します。

1 学生募集

○各学部学科の教育特色と教育実績を訴求する広報を展開します。

○開設1年目の経済学研究科経営学専攻の特色を含め、経済学研究科についての大学院広報を学内外で実施します。

2 就業力の育成・キャリア支援

○キャリア支援体制の整備・充実を図り、正課における教育実践とキャリア支援の連動を強化します。

○国際学部における英語教育及び日本語教育を本格化させ、専門発展科目との相乗的な教育を行います。

○海外体験・留学プログラムを着実に実施し、1年次の海外渡航、2年次以降の中期留学を通じて、国際理解力と英語運用能力の向上を図ります。

6 教養部

○各学部学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラムポリシーを支える共通教育「経法スタンダード」の更なる充実を図ります。

○4年間にわたる一般教養科目、総合科目の整備・充実を進め、幅広い教養と異文化理解・多文化共生を通じた豊かな人間性と国際感覚を育みます。

○初年次教育を中心に、英語、情報、文章読解・作成、数的処理、留学生日本語の重点分野を一層強化し、学生の汎用的技能の養成に努めます。

7 大学院経済学研究科

○大学院経済学研究科経営学専攻の掲げた養成する人材像の実現に向け、初年度の教育研究を円滑に開始させます。

○大学院教育の質保証を図るために、複数教員指導体制を強化し、充実した研究指導を行います。

○業界別・学部特性を反映したキャリア教育及びキャリア支援プログラム、個別指導・支援を充実させます。

○就活対策キャンプ(仮称)、学内会社説明会、業界研究セミナーを重点行事として位置付け、情報発信を強化し、参加者の拡大と各行事の質向上に取り組みます。

○公務員志望者及び留学生への支援を強化します。また、女子学生及び体育会所属学生に対するキャリア支援の充実を図ります。

○中堅企業を中心に企業との関係強化を図り、今後の成長産業・重点業界を軸に、企業情報量を拡充させます。

3 経済学部

○経済学部経済学科及び経営学科における「学位授与の方針(ディプロマポリシー)」、「教育課程の編成実施の方針(カリキュラムポリシー)」の発展的見直しを着実に進め、教育の質保証に向け、組織的に連携した教育実践を強化します。

○専門演習の教育を充実させるとともに、アクティブラーニングの拡大・深化と学生研究発表大会の質的向上を図ります。

8 学士課程教育の改革

○各学部のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく専門教育及び教養教育における教育の質保証と特色化に向け、シラバスの改善充実、カリキュラムマップの作成を実施します。また、科目ナンバリングの導入を検討します。

○2キャンパスにおける教育の効果的編成に向けて、学部学年別のキャンパス配置の見直しを進めます。

○留学生日本語教育の基本方針に基づき、日本語教育プログラムの充実を図ります。

9 修学支援

○学生一人ひとりが成長を実感し、高い満足度で学士課程教育を修了して希望進路を実現できるよう、学生の特性に応じた修学支援を組織的に強化します。

10 資格取得支援の強化、公務員志望学生支援

○各学部学科の養成する人材像の実現に向け、Sコース(難関国家試験を目指す学生のために正課外で行われる特修講座)及び資格講座の教育を層充実させます。

11 国際教育・国際化事業

○国際教育・国際化事業をさらに

○必修化される4年生演習において義務化される、卒業論文または卒業レポートの作成指導を充実させます。

○アドバンスプログラムにおいて、高い志と学修意欲を持つ学生への教育を充実させ、将来の希望進路の実現に向けた教育を充実させます。

○留学生に対する専門日本語の学修支援を充実させます。日本語能力試験を学部推奨資格として定め、その取得を推進します。

○学生の就業力の育成、キャリア支援と資格取得支援の充実に向けた取組みを強化します。

4 法学部

○法学部法律学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、教育力向上のための取組みの着実な実施と相互の連動を図り、積極的な教育改革に取り組み、4コース16モデルの教育内容を充実させます。

○公務員志望学生の希望進路の実現に向け、公務員特別演習などの正課授業の改善、公務員ナビブックを活用した指導強化及び希望進路に応じた個別指導の充実を図り

推進し、国際的なビジネス・市民社会で活躍できるグローバル人材を育成します。

○国際学部を擁する大学にふさわしい教育文化の創出、海外協定校ネットワークの拡大を図ります。

○留学生に対する総合支援を実施し、卒業後の進路として、専門職、研究者並びに企業経営者等、幅広い職業選択を可能とする高度外国人材を養成するための施策を強化します。

12 学生生活の支援と課外活動の活性化

○豊かな人間性を涵養し、他者への理解を深め、学生が自律的に成長できるよう、課外活動等自主的活動の活性化を支援します。

○学生が充実した学生生活を実現することができるよう、多様なニーズに応じた適切な支援を行います。

13 教育・研究・校務展開のための学術情報基盤の整備

○教育におけるICT活用の更なる充実・高度化を推進し、双方向授業や授業外学修の活性化を図ります。

○在学生への情報発信の強化に資するよう、ICTを活用した学生サービス充実させ、これらを支えるICT環境の更新・整備を計画

ます。

○法科大学院及び法律専門資格合格実績の向上に向け、正課授業の充実と個別指導の強化を図ります。

○「宅地建物取引士」の資格取得者の増加に向け、正課授業の内容を充実させ、課外の資格講座との連携を強化します。

○専門演習の質保証に向けた組織的運営を強化するとともに、学生の希望進路に適用教育技法の開発・実践、少人数双方向型教育の展開に向けた活動を強化します。

5 国際学部

○開設2年目を迎え、二層の教育の質向上をめざし、ディプロマ・ポリシーで定めた資質と能力を有するグローバル人材を育成します。

○異文化理解と多文化共生を育み、学生が豊かな国際感覚と英語を中心とした言語運用能力を身につけることができるよう、教育課程を実施します。

○学生の将来の進路につながるよう、国際コミュニケーション、グローバルキャリアの2つのコース特性に応じたコースの運営を行います。

14 地域連携・社会貢献

○八尾市等との協定の趣旨に沿って、地域連携・社会貢献の諸事業を推進します。

○各種組織・団体との連携を通じて、共同調査研究を進め、学生の自主的活動を促しながら、長期的視点に立った人材育成に資する活動を展開します。

15 施設設備の整備・充実

○在学生並びに志願者等が期待と信頼を寄せる両キャンパスの整備利用計画を推進します。

16 研究活動

○本学の研究者による研究活動及び国際的な学術ネットワークを活用した共同研究を活性化させ、研究成果を広く公開します。

17 職員の業務遂行能力の向上

○職員の業務遂行能力と専門性を実践的に育成し、大学改革を牽引する職員の校務展開力を高め

2017年度
大学予算収支
概要

収入について

2017年度の収入の概要は、以下のとおりです。
(金額は、全て概算額です。)

①「学生生徒等納付金収入」
30億9千万円

新入生、在学生から納めていた
だく入学金、授業料、実習費等の
学費です。本学における、主要な
財源となっています。

②「手数料収入」
5千万円

入試の検定料や成績証明書な
ど、各種証明書の発行手数料及

び、大学入試センター試験実施手
数料です。

③「補助金収入」
8千万円

私立大学等経常費補助金で
2016年度交付額を基準とし
て計上しています。

④「大学整備充実資金
運用収入」
1千万円

大学整備充実資金の運用利
息収入です。安全性と効率性を
勘案し預金や国債で運用してい
ます。

大学整備充実資金の内容は次
のとおりです

「建物等減価償却引当特定資
産」(建物及び構築物の減価償
却分を積立て、建物等の建替え
や施設等の充実に活用する特定
資産)

「建物等修繕引当特定資産」
(長期修繕計画に基づき、修繕費
を積立てている特定資産)

「八尾駅前キャンパス建築引当
特定資産」(八尾駅前キャンパス
の整備工事等を引当てた特定資
産)

「退職給与引当特定資産」(教

職員の退職金の支給のために積
立てている特定資産)

⑤「雑収入」
1千万円

科学研究費補助金(文部科学
省による研究費助成)の間接経
費その他の収入です。

支出について

2017年度の支出の概要は、以
下のとおりです。

①「人件費支出」
15億円6千万円

専任教職員や非常勤講師、嘱
託職員、契約職員等に支払われる
給与、手当及び退職給与引当特
定資産繰入支出額などです。

②「教育研究経費支出」
8億9千万円

教育、研究に直接要する経費で
あり、前項の事業計画に沿って編
成しています。今年度において主な

内容は、①各種奨学金事業に
2億3千万円、②就業力の育成・
キャリア支援の充実事業に5千万
円、③特修講座や資格講座等の開
講事業に5千万円、④学術情報基
盤の整備事業に5千万円、⑤学生
生活の支援と課外活動の活性化
事業に5千万円、⑥国際教育・国
際化事業に3千万円、等となつて
います。

③「管理経費支出」
3億4千万円

教育研究活動を支える大学管
理運営上の経費や、学生募集経
費などです。

④「建物等減価償却引当
特定資産繰入支出額」、
「建物等修繕引当
特定資産繰入支出額」
4億4千万円

それぞれの特定資産の設定趣
旨に基づいて、毎年度所定の金額
を繰り入れます。

⑤「その他の支出」
2千万円

教育研究用の機器備品・図書
などの購入費です。

2017年度 大学予算書

2017年4月1日から2018年3月31日

(単位:千円)

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	3,090,171
授業料収入	2,907,021
入学金収入	178,800
その他納付金収入	4,350
手数料収入	49,570
入学検定料収入	47,000
試験料収入	70
証明手数料収入	2,500
補助金収入	85,000
大学整備充実資金運用収入	13,200
雑収入	7,637
収入の部合計	3,245,578

※この2017年度大学予算は、本学が予算管理目的のために設定している
「大学の予算」の収支を勘定科目別に表示したものです。

■ 大学整備充実資金 (2017年度期首残高) (単位:千円)

建物等減価償却引当特定資産	5,413,552
建物等修繕引当特定資産	250,381
八尾駅前キャンパス建築引当特定資産	28,734
退職給与引当特定資産	563,234
合計	6,255,901

収支構成図

